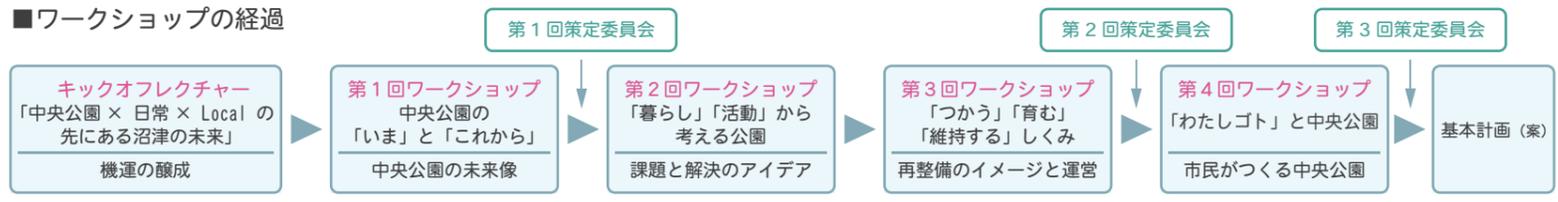


基本計画について

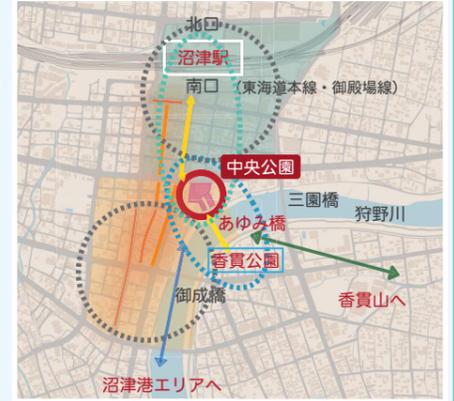
中央公園は、市中心部に位置する公園として、遊びや休憩、イベント会場などの様々な活用を通じて、市民の憩いの場であると同時に、地域活性化に寄与する役割を担ってきました。開設から約50年が経過し、当時の利用形態と変わってきていることや、施設の老朽化が目立っていることから、施設更新に合わせ、利活用も含めた再整備が望まれていることを受け、令和3年度に策定された再整備基本方針「中央公園・未来ビジョン」に基づき、ワークショップなどにより、市民・利用者・民間事業者等の幅広く多くの意見を取り入れた具体的な整備イメージと公民連携による持続可能な維持・管理運営のあり方をまとめたものです。

■ワークショップの経過



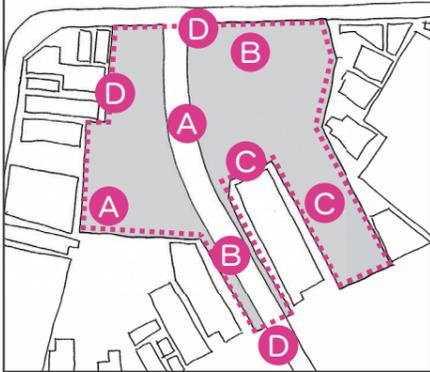
沼津の多様で豊かな暮らしと  
多彩なローカルカルチャーの拠点「中央公園」

基本方針で示された「中心市街地に相応しい市民による新しい暮らしの発信・実験拠点となる公園」を市民自らが、創り育み続けていくために、多様な活動の更なる広がりや、周辺とつながり波及していく仕掛けなど、時代の変化に対応しながら、沼津ローカルの魅力を発信し続ける中央公園を目指します。  
また、「沼津市中心市街地まちづくり戦略」における「ヒト中心の公共空間の創出」や「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」、「周辺地域資源との連携」にも重要な役割を担っています。

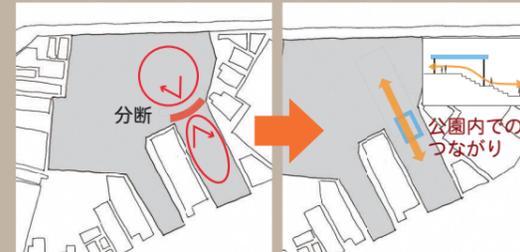
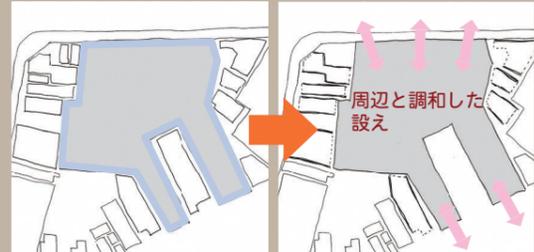


市民参加型ワークショップで整理した中央公園の課題

市民・利用者・民間事業者等によるワークショップでは、あゆみ橋への動線が公園内を縦断していることや、階段やフェンス、芝生広場やタイル舗装により、広場が分断されていること、また雨をしのいだり、立ち寄って過ごすための居場所がないことに加えて、かつて三枚橋城・沼津城が立地した歴史の継承やストリートスポーツの利用のあり方などが課題として挙げられました。これらの課題について、「再整備のポイント」により解決します。

<p><b>課題 A</b></p> <p>休憩や憩える居場所がなく、飲み物を買える店舗もないため滞留動機が生まれにくい。</p> 	<p>歩道によって公園が分断され、一体感に欠ける。</p> 	<p>段差によって使いづらく、大きく育った樹木による木陰がある一方、陽あたりが悪く暗い印象。</p> 	<p><b>課題 B</b></p> <p>女性や乳幼児を連れたママはトイレに入りづらく、使いづらい。</p> 	<p>あゆみ橋下の空間の有効な活用と管理や出し入れがしやすい倉庫の位置を検討。</p> 	
<p><b>課題 C</b></p> <p>フェンス・段差によって南側(下)の広場がわかりづらく、アクセスしにくい。</p> 	<p>南側(下)の広場は水はけが悪く、遊具(ブランコ)はあるもののやや暗い印象。</p> 	<p><b>課題 D</b></p> <p>通りに開かれているものの、さんさん通り・交差点から視認しづらい。</p> 	<p>隣地の建物と調和する良好なつながり方のデザイン。</p> 	<p>狭い螺旋階段から狩野川(風のテラス・護岸)へのアクセスがわかりづらく、つながりが感じられない。</p> 	<p><b>課題 E</b></p> <p>かつて三枚橋城・沼津城があった城址の歴史や文化を継承するシンボルが必要ではないか。</p> <p><b>課題 F</b></p> <p>ストリートスポーツの音やイベント時の大きな音など、近隣への配慮が必要。</p>

再整備のポイント

<p>■広場空間の確保 <b>A</b></p>  <p>あゆみ橋とつながる動線を東西両端に迂回させることで、中央に安全な広場を確保し、人の滞留を生むことが可能となります。</p>	<p>■施設の集約 <b>B</b></p>  <p>トイレ、防災倉庫、テーブル・椅子等を保管する倉庫や民間事業者の施設を集約することで管理しやすくなり、広場空間が広がります。あゆみ橋下などのデッドスペースも有効利用します。</p>	<p>■公園内での繋がり <b>C</b></p>  <p>大階段と開放的な施設で上下の段差をつなぐことで、公園南北からのアプローチを可能にします。また、階段を積極的に活用していくことで、過ごし方や活動の可能性が広がります。</p>	<p>■周辺との調和 <b>D</b></p>  <p>旧国道1号側の間口を広くとり、狩野川への動線の改修、周辺建物や道路と調和した景観、デザインに設えることで、公園周辺も含めた一体的な空間活用を図ります。</p>	<p>■歴史・文化の継承 <b>E</b></p> <p>歴史を解説するサインや歴史が連想出来るデザインなどを積極的に取り入れ整備します。</p>  <p>■近隣への配慮 <b>F</b></p> <p>民間事業者が常駐することで、公園利用者のマナー向上を図るとともにパブリックマインドを醸成していきます。また、地域のコミュニティとの関係性を大切に、安全・安心で誰もが心地よく憩える環境づくりを促進します。</p>
--	--	---	--	--

▶ 「つながる」「ひろがる」Link Up NUMAZU

▶▶ 沼津の多様で豊かな暮らしと多彩なローカルカルチャーの拠点「中央公園」

中央公園の再整備イメージ



事業全体のスケジュール（予定）

令和 8（2026）年度の供用開始を目標に、事業を進めていく予定です。

令和 5（2023）年度には、基本計画に基づいたゾーン分けの適切性及び来園者にとっての利便性や効果的な使い方等、より魅力的な空間の創出につながることを検証するとともに、併せて、再整備に向けた機運醸成を図ることを目的としたトライアルを実施する予定です。

また、検証結果により得られたニーズや課題等を踏まえ、今後実施する詳細設計に反映していきます。（設計にあたっては、ランドスケープアーキテクト（空間デザインの専門家）などの意見も取り入れながら検討していきます。）

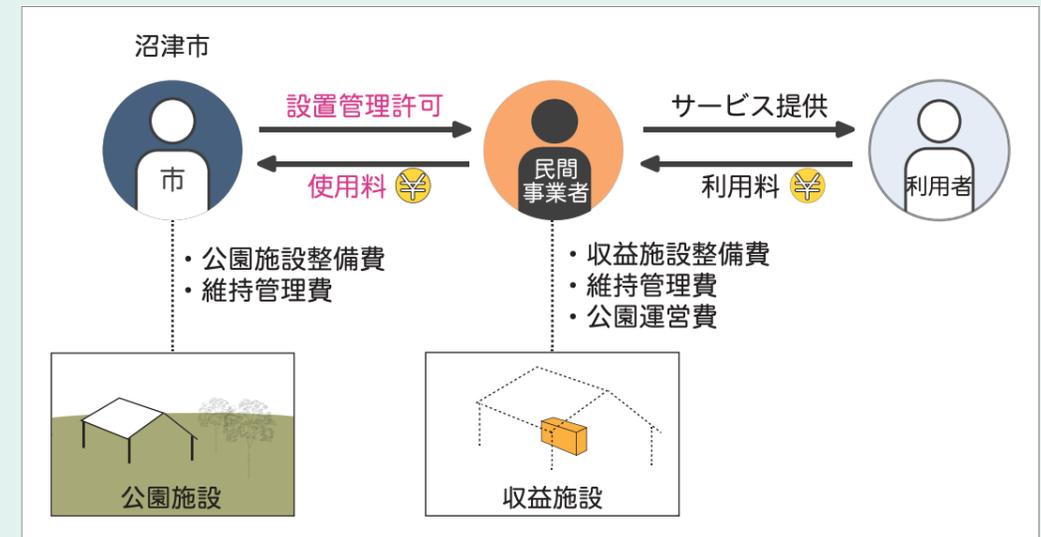
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
民間活力導入	プレイヤーヒアリング	市民ワークショップ	民間活力導入検討 (サウンディング調査など)	収益施設設計 管理運営計画 検討・作成	整備	
市民参加	市民ヒアリング	子育て世代/地域住民 ヒアリング	基本計画の具現化 組織づくり 管理・運営方針検討 機運の醸成	ソフト事業の充実 運営サポーター組織の構築		供用開始
全体	基本方針	基本計画	トライアル	詳細設計	整備	

公民連携による成長し続ける公園 市と民間事業者の役割

中央公園を将来にわたって市民に親しまれ、生き生きとしたまちづくりを推進する原動力となる公園としていくために、公民連携による管理・運営が必要不可欠となります。

本来、公園は比較的自由度の高い利活用が可能であり、様々な利用者などの連携を促すためには、民間事業者が収益をあげながら、持続的に管理・運営していくことができる体制をつくる必要があります。

■ 維持管理・運営のスキーム（案）



＜市の役割＞

- 公園施設整備 ■公園施設維持管理（広場・園路・休憩施設・公衆トイレ・防災倉庫等）

＜民間事業者の役割＞

- 収益施設整備（カフェキッチン等） ■公園施設の維持管理（広場・公衆トイレの一般清掃）
- 公園の運営（利用者へのサービス提供・収益施設の運営・イベントの実施等）

中央公園では都市公園法第5条に基づく「設置管理許可制度」等によって、民間事業者がカフェ等の収益施設を設置・維持管理しながら、公園全体の運営を行っていくことを目標とします。